

製品名: DNMT3B マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81535**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	95.8kDa

抗原情報

遺伝子名	DNMT3B
別名	ICF; ICF1; M.HsaIIIB
遺伝子 ID	1789.0
SwissProt ID	Q9UBC3
免疫原	大腸菌で発現したヒト DNMT3B (AA: 1-150) の精製された組み換え断片。

背景

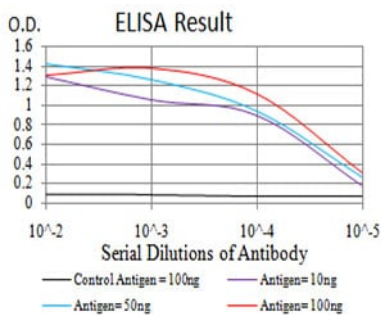
CpG メチル化は、胚発生、インプリンティング、および X 染色体不活性化に重要なエピジェネティック修飾です。マウスを用いた研究では、DNA メチル化が哺乳類の発生に必須であることが実証されています。この遺伝子は DNA メチルトランスフェラーゼをコー

ドしており、これは維持メチル化ではなく、de novo メチル化に機能すると考えられています。このタンパク質は主に核に局在し、その発現は発生段階に応じて制御されます。この遺伝子の変異は、免疫不全・セントロメア不安定性・顔面異常 (ICF) 症候群を引き起こします。選択的スプライシングによって生じる8つの転写バリエーションが報告されています。バリエーション4および5の全長配列は未だ決定されていません。

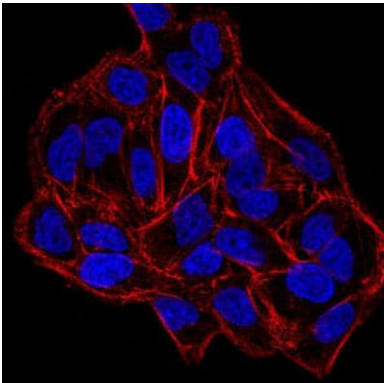
研究分野

-

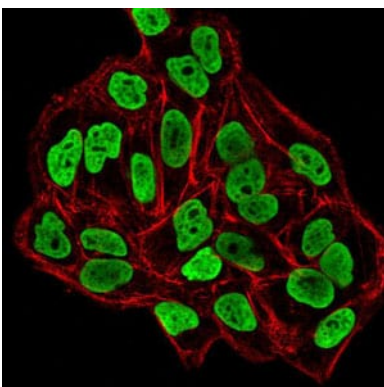
画像データ



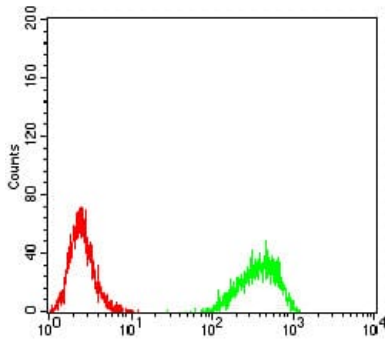
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



DNMT3B マウス mAb を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



DNMT3B マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



DNMT3B マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。